

東アジア先史社会の物質文化の拡散と 環境変動からみた文化史

シンポジウム

2018年

7/21(土)

会場 中央大学多摩キャンパス
2号館4階 研究所会議室4

9:30~17:00

概要

東アジアを中心に生態環境の変化と社会変化、特に土器や住居の移動から考えられる人間の移動（交易・婚姻などの交流レベルから移住・集団移動まで）について、気候変動による生態環境の変化と、物質文化に見る社会変動の両面から、その文化変容と異文化間の交流プロセスを復原し、物質文化史的な説明を試みる。

縄田 雄三	中央大学	開会の辞
小林 謙一	中央大学	趣旨説明：「物質文化の移動・交換からみた文化史」
李 亨源	韓神大学博物館	「土器と住居にみる日韓の交流－粘土帯土器文化の拡散と文化変動－」
河 仁秀	釜山市福泉博物館	「韓日新石器時代の土器交流－韓半島の縄文系土器－」
廣瀬 雄一	釜山大学大学院	「韓日新石器時代の土器交流－日本九州地域櫛文系土器 土器から見た交流の意義」
福田 正宏	東京大学	「東北アジア新石器文化集団の北方拡大と適応の限界」
Enrico R. Crema	University of Cambridge	「人口変動と比較考古学」
櫻井 準也	尚美学園大学	「日本の先史時代における空間認知構造の変化とその認知考古学的意味 － 集落の空間構成・遺物製作プロセスから先史時代の心性を探る－」
中塚 武	総合地球環境学研究所	「高時間分解能の古気候データを使って先史時代を透視する！」
羽生 淳子	カリフォルニア大学 バークレー校	「歴史生態学・景観考古学とレジリエンスの理論から見た縄文文化」

行 動 す る 知 性 。

主催：中央大学学術シンポジウム
「グローバル文化史の試み」

 中央大学

<お問い合わせ先>
中央大学人文科学研究所
tel.042-674-3270
e-mail : jinbun@tamajs.chuo-u.ac.jp